

管楽合奏は楽しい会？

No.36 "ロマン派の時代"

2011年5月21日(土)14時開演 深川江戸資料館

- | | | |
|----------|---------------|--|
| ダンツィ | (英/1895~1984) | 「管楽六重奏曲」 (Cl)兼氏/宮下 (Fg)山田/三好 (Hn)市原/吉野 |
| チャイコフスキー | (露/1840~1893) | 「秋の歌」 (Ob)楠原/上山 (Cl)景山/庄子 (Fg)尾作/角山 (Hn)中原/市原 |
| シュレック | (独/1849~1918) | 「管楽九重奏曲」 (Fl)信澤/岡添 (Ob)一宮 (Cl)坂本/宮下 (Fg)尾作/三好 (Hn)中原/加治 |

----- Intermission -----

- | | | |
|---------|---------------|---|
| ベートーヴェン | (独/1770~1827) | 「アダージオ」 ~管楽九重奏曲 (Fl)信澤 (Ob)一宮/上山 (Cl)景山/庄子 (Fg)三好/山田 (Hn)市原/加治 |
| シューベルト | (奥/1797~1828) | 「メヌエットとフィナーレ」 (Ob)上山/楠原 (Cl)坂本/庄子 (Fg)角山/尾作 (Hn)加治/中原 |
| グーヴィ | (仏/1819~1898) | 「管楽八重奏曲」 (Fl)岡添 (Ob)楠原 (Cl)兼氏/景山 (Fg)山田/角山 (Hn)市原 |

出演者の簡単なプロフィール(楽器別50音順)

(Cond)森川 一 (もりかわ はしめ)

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原眸氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、別科修了後元ハンブルク州立劇場奏者F.ヘンカー氏に師事。フリーの奏者として今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。演奏活動では「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川リード倶楽部」も主宰している。2002年に法政響のOBで設立した「法政ファゴットの会」同人

(Fl & Cond)岡添 隆 (おかぞえ たかし)

京都大学音楽部交響楽団でフルート奏者、学生指揮者として活躍する。フルートを佐々木伸浩氏、持田洋氏に、フラウト・トラヴェルソを森本薫氏に師事。現在はアンサンブル・メゾン、東京アマデウス管弦楽団で演奏活動中。普段は某メーカーで化学の研究企画に携わる。「研究のアイデアは音楽で演奏する時のアイデアと共通するものがある」と主張し、部下達にあきられている。指揮もする才人。

(Fl)信澤達也 (のぶさわ たつや)

東京大学音楽部管弦楽団で活躍し、その間フルートを磯部庄平氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団に所属。鉄鋼系化学メーカーの研究所でコールタールを扱う日々。今年4月から晴れて東京転勤(出向)となる。それにともない千葉から東京に転居、オケやアンサンブルの練習会場にも近くなり、音楽優先の生活パターンが一層強固となった。

(Ob)一宮悠子(いちみや ゆうこ) 初参加!

北海道出身、横浜育ちの仙台在住。中学校からオーボエを始める。高校時代には鈴木繁、大学時代より渡辺潤世の各氏に師事。大学を卒業、就職したのを機に念願のアマチュアオケに入団。以降、レッスンの度に高崎へ、また声が掛かれば喜んで上京し演奏活動をする日々を送る。本職は施設勤務の医療専門職。

(Ob)上山範人(かみやま のりひと) 初参加!

洗足学園大学(現・洗足学園音楽大学)を卒業。在学中、室内楽、卒業演奏会等に出演。スコットランドにて行われたユースフェスティバルに出演。オーボエを虎谷迦悦氏に師事。イタリアにてフランチェスコ・ディ・ローザ氏のマスタークラスを受講。現在、オーケストラや室内楽等で活動する。

(Ob)楠原千佳子(くすはら ちかこ)

中学からオーボエを始め、藤原勲氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団に所属。大学～大学院を通して、コンクリート相手の研究で手がザラザラした時期もあったが、現在は少し手にやさしい社会人となった。

(Cl)景山賢嗣(かげやま けんじ)

東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団に所属。クラリネットを平林邦男氏に師事。大学一年の情報処理の成績が「可」であったにもかかわらず、大手情報通信企業にてシステムエンジニアとして勤めている。専門は、大量トランザクションを扱うオンラインシステム。

(Cl)兼氏規雄 (かねうじ のりお)

東京藝術大学附属高等学校を経て同大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学留学。NHK洋楽オーディション合格。NHK「午後のリサイタル」等に出演。水戸芸術館「公募企画シリーズ」の第1回出演者に選出されリサイタルを開催。08年、東京オペラシティでのリサイタルについて、「音楽の友」誌が絶賛評を掲載した。水戸芸術館では「茨城の名手・名歌手たち」出演オーディション審査員、「茨城の演奏家による演奏会企画」選考委員、茨城県では新人演奏会出演オーディション審査員、新人賞選考委員を務めている。また、日本クラシック音楽コンクールの全国大会木管楽器部門審査員も務める。現在、上野学園大学音楽学部、茨城大学教育学部、大東文化大学文学部講師、水戸ゾリス代表。フルスヴァルト合奏団同人

(Cl)坂本沙織 (さかもと さおり)

茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。第26回茨城県新人演奏会奨励賞、第29回茨城県県民コンサート特賞並びに茨城新聞社賞、第5回長江杯国際音楽コンクール第2位、第12回クラシック音楽コンクール第3位(1位2位なし)、第4回クラリネット・アンサンブル・コンクール入選。これまでにクラリネットを、渡部浩子、吉成隆一、鈴木良昭、四戸世紀、J.Widmannの各氏に師事。2008年にはハノーファーで行われたニーダーザクセン州音楽祭に招待され演奏する。水戸三高講師。

(Cl)庄子穂奈美 (しょうじ ほなみ) 初参加!

1990年生まれ、宮城県出身。中学時代の吹奏楽部にてクラリネットを始め、高校からレッスンに通い始める。クラリネットを千石進、堀川豊彦に、室内楽を太田茂に師事。現在昭和音楽大学短期大学部に在学。学外ではヴェントムジカオーケストラに所属し演奏面、指導面ともに修業中

(Cl)宮下節子 (みやした せつこ)

学生時代は東京大学音楽部管弦楽団で活動し、その後名古屋市内管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団で演奏している。クラリネットを平林邦男氏に師事。平日は裁判所で働く国家公務員。

(Fg)尾作拓郎 (おさく たくろう) 初参加!

1984年生まれ、神奈川県出身。法政大学第二高等学校の吹奏楽部にてファゴットを始め、法政大学交響楽団を経て、同大学卒業後はシステムエンジニアとして大規模金融システムの開発をする傍ら週末に積極的に演奏活動を行っている。現在、狛江フィルハーモニー管弦楽団、ヴェントムジカオーケストラに所属。「法政ファゴットの会」同人

(Fg)角山由美 (かくやま よしみ)

法政二高では吹奏楽部、その後法政大学交響楽団で演奏、ジュネスにも出演する。卒業以来、日本音楽著作権協会(JASRAC)にて、音楽家の権利を守る仕事一筋。昨年秋に一線を退き、改めてファゴットの基礎から取り組みたいと楽器を奏する意欲は旺盛。今年4月のドイツ旅行で新鮮な音楽感覚を体験し、音楽に対する情熱はますます熱くなっている。加えてコントラファゴットの名手でもある。「管楽合奏は楽しい会?」ホームページの管理人。「法政ファゴットの会」同人

(Fg)三好純子 (みやし じゅんこ)

中学の吹奏楽部でファゴットを始める。千葉大学在学中よりファゴットを森川一氏に師事し、虎ノ門交響楽団で角山氏と演奏。その後福岡にて福岡市民オーケストラ、アルモニア管弦楽団(佐賀)にて活動。2008年より東京在住。測量調査会社で、地図や大量のデータと毎日格闘している。現在、モーツァルト・アンサンブル・オーケストラに在籍。仕事と家事と趣味のバランスが悩みのタネである

(Fg)山田祐理(やまだ ゆうり)

法政二高ではブラスバンド、その後法政大学交響楽団、ジュネスでファゴットを演奏する。ファゴットを森川一氏に師事。現在は同大学院工学研究科博士課程を経て博士号取得。法政大学その他で講師を務めている。東京アマデウス管弦楽団で演奏するほかエキストラとして多くのオケに出演にコントラファゴットも手に入れ演奏活動にも熱が入っている。「法政ファゴットの会」同人

(Hr)市原秀紀 (いちばら ひでき)

茨城県出身。オーケストラのホルンに憧れ、中学校からホルンを始める。東京大学音楽部管弦楽団では故・伊藤泰世氏に師事、大学院時代は転居の度に市民オーケストラを渡り歩く。長い学生生活の後東京アマデウス管弦楽団に所属し、ほぼ同時に企業の研究職へ。入社面接で東京配属と騙され、沼津に配属される。現在は週末になると楽器を背に上京し、オーケストラから室内楽、ホルンアンサンブルなど精力的に活動し、週末の疲れで月曜日にぐったりする日々である

(Hr)加治祐子 (かじ ゆうこ)

12歳よりホルンを始め、埼玉県立伊奈学園総合高校芸術系(音楽)を経て、東京音楽大学を卒業。現在はフリー奏者として、オーケストラをはじめ、室内楽にも積極的に取り組み、ジャンルを問わず演奏活動中。今までホルンを、曾根敦子、水野信行、山岸博、西條貴人各氏に師事。

(Hr)中原史生 (なかはら ふみお)

京都大学交響楽団に在籍中にホルンを小山亮氏に師事。大学院在学時に演奏活動から離れるも、就職を機に復帰。現在はアンサンブル・メゾン、茨城交響楽団、クローデルクインテットで活動中。普段は海洋動物学が専門の大学教員をしており、唇の日焼け対策に苦労している。

(Hn)吉野章子 (よしの あきこ)

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。2001年東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディション(室内楽部門)に合格し、出演。ホルンを天野昌昭、安原正幸、今井仁志の各氏に師事。また室内楽を、鈴木良昭、安原正幸の高氏に師事する。現在桐朋学園オーケストラ演奏員を務めている。フルスヴァルト合奏団同人

管楽器は20世紀に至るまで発展を続けました。編曲されたものもありますが、今日の演目はそうした発展と軌を一にしていると言えます。機能が高まるにに従って、音色と響きは複雑になって来ます。そうした「管楽のオーケストラ」の響きを楽しんで戴ければ幸いです。

"管楽合奏は楽しい会?"は文字通り管楽合奏の楽しさを追求しています。またプロとアマチュアがコラボレーションをする事で、その間にあると思われる「最高の演奏」を狙う団体です。つまり「プロの技術で、アマチュアの心」を持った演奏が出来れば、これこそが「フィルハーモニー」だろうと考えるのです。そうした理想にどれだけ近づけるか、その判断は御来場の皆様に判断にお任せ致しますが、最後までお楽しみ戴ければ仕合わせに存じます。

宜しければ、感想などお聞かせ下さい。メールアドレスは heckelfg@gmail.com です。